

独立行政法人地域医療機能推進機構 相模野病院地域協議会議事概要

平成 28 年 10 月 11 日(火)	13:30-14:20	相模野病院7階 講堂
会議の招集者	相模野病院長 大井田正人	
会議の種類	第3回 相模野病院地域連絡協議会	
司会者	相模野病院 事務部長 神守実一	
書記	相模野病院 地連携室 菊池紀子	
病院側出席者 (敬称略)	院長 大井田正人、副院長 野田吉和、副院長 野田芳人、副院長 今崎貴生、事務部長 神守実一 看護部長 佐藤美樹、医事課長 高井晃、医療相談員 長塚裕二、地域連携室 菊池紀子	
地域委員出席者 (敬称略)	相模原市医師会長 竹村克二、相模原市病院協会長 黒河内三郎、 相模原市歯科医師会副会長 寺崎浩也、相模原市薬剤師会長 小川護、 相模原市健康福祉局福祉部長 鈴木英之、相模原市消防局副消防局長 佐藤政美、 相模原市社会福祉協議会長 戸塚英明、相模原市中央地区自治会連合会長 牛尾良一、 相模原市大野北地区自治会連合会長 河本博、市民代表 沼倉孝太、患者代表 高倉正男	
病院側欠席者	なし	
地域委員側欠席者	相模原市健康福祉局保健所長 鈴木仁一 (敬称略)	

議題

1、地域の医療事情を踏まえ、病院へ期待すること、要望について意見交換が行われた。

大井田院長より

地域医療機能推進機構という地域医療に貢献したいということでのついた名前に恥じめよう、今後も引き続き、微力ではありますが、地域の医療に貢献していきたいと思っていますので、よろしくご指導をいただきたいと存じます。

神守事務部長より

配布しました資料について説明いたします。

〈資料 1-1〉紹介率に関しましては平成 28 年度計が 35.2%で、平成 28 年度 8 月までの平均が 40.4%となっており、現在のところ前年度比で 5.5 ポイント増となっています。

逆紹介率に関しましては、平成 27 年度計が 25.6%、平成 28 年度 8 月までの合計が 29.5%となっており、現在のところ前年より 3.9 ポイント増となっております。紹介・逆紹介とも前年度より増加となっております。

〈資料 1-2〉紹介元医療機関の地域別推移状況になります。患者様をご紹介いただいている医療機関はやはり相模原市が一番多く、78.8%となっております。

〈資料 1-3〉疾患別紹介患者数の推移となっています。ご覧の通り歯科口腔外科が一番となっています。

〈資料 2-1〉診療科別救急車搬送件数となっています。平成 27 年度では年間 1381 軒、月平均で 115 件となっています。

〈資料 3〉平成 23 年度から本院が地域の先生向けに年に 3 回ほど開いております地域連携セミナーの実績です。今年度は、5 月に整形外科、9 月末に眼科のセミナーを開催いたしました。

最後のページになりますが、今月 10 月 3 日にオープンしました訪問看護ステーションのご報告とご案内でございます。

竹村様より

今一番問題となっている地域医療構想のなかで、まだ先が見えてきません。ベッドの数を相模原市は 900 床増やしていくといいますが、そんなにすんなりと増えていくとも思えません。病院の機能も急性期のほうもしっかりやっつけなければならぬ。地域医療を支える医者を育てていかなければならないと思っています。

黒河内様より

相模野病院は今では医師会にも力を入れていただいて、地域医療構想など、地域医療にも力を入れているのを感じています。病院協会では救急医療を行っていますが、相模野病院でも救急医療の方で、もう少し増やしていただければと思います。病院協会では連携室を充実させようとしています。病院ごとにバラバラだった窓口を病院協会の病院の中に連携室を作って、連携を上手くやっていくことを目指し、段々と充実してきています。協会の中に連携室の委員会も作りますので、ぜひご協力いただきたいと思っています。

寺崎様より

相模野病院でも訪問看護のセンターを 10 月にオープンさせたということですが、相模原市歯科医師会でも高齢者の口腔ケア、訪問看護を行っていますので、もし在宅で歯科が困っている患者さんがいましたら、私共に言っていただければ、ご協力できると思います。

<p>小川様より</p> <p>以前お願いした不備な処方箋に関しては、上手くやっていただき、ありがとうございました。</p> <p>今回 10 月にデパスとアモバンが 30 日の制限日数がつくことになりました。無制限だったものに30日の処方しか出来なくなるといことで、倍量の処方箋が出やすくなります。トラブルの元になりますので、よろしく願いいたします。</p>
<p>沼倉様より</p> <p>相模野病院さん、市民の皆さんとのお話の中では、非常に評判がよいです。駐車場など外的なものについて改善していただけるということで、医療についてはなかなか評判がよいと聞きます。前回、会計までの待ち時間が長い話が出て、これはこれからも改善していただきたいと思っています。</p> <p>紹介率が今回40%まで上がったとありますけれども、病院が目指しているのはどの位なのか、お聞きしたい。</p> <p>救急を増やして欲しいというお話がありましたが、確かに今年度は増えている傾向にあるようです。これは努力の結果なのか、自然に増えてしまったのか、お聞かせいただきたい。</p>
<p>高倉様より</p> <p>紹介率・逆紹介率が増えているということで、相模野病院がそれだけ地域の開業医の先生方からある意味信用されているという裏づけになるかと思えます。これからも患者さんのためにも、紹介・逆紹介が増えるようにしていただきたいと思えます。</p>
<p>鈴木様より</p> <p>特に逆紹介率が去年と比べて上がっているということで、地域の医療機関さんと連携が図れているのかなという印象を持ちました。</p>
<p>佐藤様より</p> <p>平素より消防行政にご協力いただきありがとうございます。今年度も救急救命士の生涯研修に2名の受け入れをありがとうございます。救急搬送件数が月平均9.5の伸び率というお話がありまして、消防としては、大変心強く思っている次第です。今年は11月29日に地域連携セミナーということで、循環器系のセミナーを消防のほうへお声かけいただきました。お互いに顔の見える関係ということで、大変重要かと思えますので、引き続き、このようなセミナーがありましたら、お声かけいただきたいと思えます。</p>
<p>戸塚様より</p> <p>医療と福祉は接点がありますが、この接点が難しい。社協というのは地域福祉の増進を目標に仕事をしているのですが、今回の相模野病院の地域連絡協議会ということで、ここに地域という接点があります。医療と福祉の仲介役になればと考えていますが、医療と福祉の接点をどうとらえればよいのか、こういう話し合いの場が作られているので、確認しておきたい。</p>
<p>牛尾様より</p> <p>中央地区の自治会は、特に人間ドックについては、自治会の連合会と連携させていただいて、自治会員は割引で受けられる制度をいち早く導入していただいて、ありがたく思っています。そういう面で相模野病院を自治会の世帯に PR していかなければと思っています。</p> <p>この地区も高齢化の方向に進んでおりまして、訪問看護を始められたのは、画期的かと思えます。訪問看護を進めていくことは、地域にとってもありがたいと思っています。</p>
<p>河本様より</p> <p>大野北地区は高齢化が非常に進んでいます。大野北地区は相模野病院、淵野辺病院があり、病院に恵まれています。総合病院として相模野病院は評判がよいです。コミュニティバスを担当していますが、現在、町田市の馬場のほうを經由してこの病院の脇を通る形を取らしてもらっていることも若干影響しているのかと思えます。</p>
<p>今崎副院長より</p> <p>紹介率は JCHO の病院の中ではちょうど真ん中くらいです。やはり逆紹介率を増やしていかなければいけませんし、少しずつ地域の患者さんを戻して行きたいと考えています。</p> <p>救急としては、ほんの微々たる増加なのですが、私どもとしては、それなりに努力した結果です。夜間の救急は2次救急として増えていますし、昼間の救急も各科ごとに救急当番を作り、少しずつ増やしている状態です。今の状態だと、昨年より100件位増える計算になります。</p> <p>患者さんのニーズに関しては、これが一番難しいところなのですが、患者さんにアンケート調査を行っていることと、要望箱を作っています。サービス委員会で具体的に対応できることは対応していこうと、検討しています。</p>
<p>大井田院長より</p> <p>救急のことですが、病院協会の理事会のときに下半期の当直をなんとかならないかと言われまして、翌日、医局員全員を呼んで相模原市の中で我々もしなくてはならないのではないのかという話を、2つ増やしました。</p>

神守事務部長より

ご意見箱という、駐車場工事中ということで、お叱りを多くいただきました。待ち時間に関しては紙に書いてのものはあまりなく、物理的なものはできるだけ対応していきたいと思っています。

そのほか職員の接遇等があります。患者さんの切羽詰ったところに対応出来ず、お叱りの言葉いただくこともあります。患者さんが嫌な思いをされたことは、各々の部署にフィードバックして、改善させていただいています。

大井田院長より

JCHO の組織が全国 57 の病院で、外来受診者の方、入院されている方を対象に、接遇のアンケートを行っています。たくさん項目にお答えいただいたものを、点数をつけ全国平均を出し、相模野病院はこの位で、ここが良くないというを出しています。今回 10 月 13 日が 2 回目となりますが、自分たちで、従来の公立病院の意識を変えようとしているもので、医療はサービス業だと思っていますので、非常に良い方向性だと思います。

沼倉様より

接遇のことで相模野病院だけでなく病院業界全体のことになります。先生が、患者の顔を見ないでパソコンばかり見ているという話をよく聞きます。接遇の議論をされるのであれば、そのことに関しても意見をいただければと思います。

神守事務部長より

先生たちは、紙カルテの頃は書きながら、見ながらとやっていたと思いますが、電子カルテになり、一生懸命電子カルテに記録し、隣にいる患者さんの顔を見るのが二の次になってしまうこともあり、そのように思われてしまうことは、医師も参加している接遇の研修会の資料にも出てきておりますので、すこしずつ良くなるのではと期待しております。

佐藤看護部長より

救急に関しては、病院のモットーとして、救急車を断らないというのをモットーに挙げさせていただいています。ただ、ナースの人材確保が大きな課題となっております。夜勤をしてくれるナースの確保がなかなか難しいのが現状です。二次救急の体制の整備に対しては夜勤人数を多めに配置する、外来と病棟の配置については重症の患者さんがいればそこを強化するなど、救急車の受け入れに対しては、職員の負担増にならないように頑張っている次第です。

野田芳人副院長より

私どもの市民公開講座というものがあります。実はもう数年前から、年に 2 回から 3 回ほど、この市民の皆様向けの講座を行っています。タウンニュースや市の広報にも出していただいているのですが、もっとアナウンスをしっかりと、皆さんに参加していただけたらと思っています。

寺崎先生より

本当に夜勤は大変なんだと思います。その 2 交替 3 交替というのは医療機関で統一ということは出来ないのでしょうか。やはり病院自体の方針があるのでしょうか。ちなみにこちらは 2 交替、3 交替どちらになりますか。

佐藤看護部長より

2 交替制、3 交替制それぞれメリットデメリットがありまして、今は変則 2 交替です。うちは今は 8 割 9 割は 2 交替制に変わってきているのですが、2 交替制と 3 交替制を、家庭の事情と体力的なものを踏まえて、選択していただいています。長時間勤務の魅力は、まとまって休みが取れるということで、若い方の選択率は高いです。2 交替と 3 交替の混合で行っていて上手いってしていますが、大変なのは、勤務表を作っている師長です

大井田院長より

上手いってはいませんが、大変は大変です。ちょっとプラスアルファを抱えてなければ大変ですので、私としては、どちらかに統一して欲しいのですが。

河本様より

せっかくセミナーをやっておられるので、私たちいろいろお話が聞けたらと思います。ご予定がわかりましたら、ぜひ、牛尾さんと私のところへお知らせいただけたらと思います。各自治会に呼びかけて多くの参加をお願いしたいと思います。

大井田院長より

本日はたくさんのご意見をたまわりましてありがとうございます。とにかく少しでも地域医療を担わしていただければと思っています。今後も、今よりさらによりよい医療を、と考えております。職員一同同じ思いですので、これからもご指導、ご鞭撻をお願いいたします。今日はお忙しいなか、ありがとうございます。

神守事務部長より

定例会は毎年 10 月の第 2 火曜日ということですので、来年は 10 月 10 日火曜日となります。よろしければ、スケジュールに入れていただければと思います。